



せいざん

平成20年 1月28日 岐阜市立青山中学校

生活をみつめ自ら創り出す生徒

仲間にありがとうと感謝できる瞬間が味わえたから



1月7日の始業式で、1年生の橋本宗次郎君、2年生の鈴木小夏さん、3年生の森田悠さんの3人がそれぞれ3学期の決意を全校生徒の前で語ってくれました。

2年生の鈴木さんはこのように語ってくれました。

「クラスのみんなが協力したからこそ、これまで事実を創り上げることができたので、これからも自分の役割を果たしていくこと、そして仲間の思いを考えながら、互いの活動に協力していくことを大切にして、3学期も努力を積み重ねていきたいと思いました。」

係としての役割を果たすことは自分の責任です。しかし、自分の力だけではできないこともたくさんあります。お互いがそういう仲間の思いを考えて応え合っていける、そんな学級にしたいですね。

書き初め大会開催

1月11日(金)、体育館にて全校生徒が書き初め大会



を行いました。凍えそうな体育館の床に正座をし、真剣に集中して筆を走らせました。1年生は「強い意志」、2年生は「力

強い前進」、3年生は「希望に輝く春」の文字を書きました。どの学年もすばらしい姿でした。

この大会で選ばれた作品が1月19日～22日に行われた岐阜市展に出品



されました。

なお、これらの作品は南舎会議室前に掲示してありますので、2月18日の参観の折にはぜひご覧ください。

地域の方からのメール

中学校の北側の環状線を通勤経路として使用されている地域の方から下のようなメールをいただきました(抜粋)。

私は通勤に毎朝、環状線を長良方面に向かって利用させていただいています。先日の朝、青山中の近くの信号で停車したとき、一人の自転車の生徒さんが自転車を止め、道ばたに落ちている紙切れを拾ってから横断歩道を渡りました。次に徒歩通学の男子生徒が、空のペットボトルを手に持ちながら、押しつぶされた別のペットボトルを拾うところでした。間違いもなく、自分で環境のことや資源のことを考えて行動しているのだと理解しました。

学校で習ったこと、考えたことを自主的に行動に移すことは難しいものと思いますし、そのような行動をすることが困難な社会情勢のなかで日常的に活動できる生徒さんがいらっしゃることはとてもうれしいことと思います。

地域の方々はいろんな所で生徒のみなさんを厳しくも温かく見守ってくださいます。通学の仕方等でお叱りを受けることがあるのも事実ですが、こうした目立たないけれど地道で値打ちある活動もちゃんと見てくださる方がいらっしゃるといのは本当にありがたいことです。

このことについては、メールの内容とともにお昼の放送で全校生徒にも伝えました。

2月の主な予定とお願い

2月4日 新一年生一日入学(午後)

2月7日 3年生と語る会

2月18日 授業参観、PTA総会(午後)

2月25日、26日 3学期末テスト(1・2年)

■18日のPTA総会に多数のご参会をお願いします。

■以前お知らせしましたとおり、2月1日から最終下校時刻を16:35とします。

■また、2月19日より通常日課となり、最終下校時刻は17:00となります。